

NPO法人民間稲作研究所からのお知らせ

## 「公開シンポジウム」の中止と 書面総会への変更のお知らせ

コロナ禍に加えて大雪や異常乾燥など気候変動の中、不安な新年を迎えましたが、皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

さて、民間稲作研究所は毎年2月に「公開シンポジウム」と「総会」を開催しております。本年2月にも国際ジャーナリストの堤未果氏と医師の本間真二郎氏をお迎えして開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、栃木県にも「緊急事態宣言」が発令され、移動の自粛などが求められております。従いまして、今年度の「公開シンポジウム」は中止と決断いたしました。また、「民間稲作研究所の総会」につきましても通常の総会は開催困難と判断し、書面による議決を行うことといたしました。

また、突然の訃報となりますが、昨年12月11日に当研究所の創立者である稲葉光國理事長が逝去いたしました。日本の有機稲作を牽引し、さらにブータン国などの海外の有機稲作にも尽力された功績はたいへん大きいものがありました。道半ばでの急逝は誠に無念です。本来ならば、稲葉理事長の遺志を継ぎ、日本の有機稲作の発展と学校給食への有機食材の提供など、子供たちの健康と日本の食糧の自給などを語り合い広める場として「公開シンポジウム」や「総会」の開催の計画を立案しておりましたが、参加される方々の安全等を考慮いたしますと、今回はやむなく中止といたしました。

しかしながら、今回の中止は、次なるステップへのエネルギー充填の期間と捉えて、次回のシンポジウムの開催時には、有機稲作の飛躍につながりますよう努めてまいります。今後は新体制で民間稲作研究所を発展させていく所存ですので、みなさまにはご理解を賜わり、ご協力・ご支援をお願い申し上げます。

なお、2020年度のNPO法人民間稲作研究所の総会議案書及び書面決議の用紙等は、後日郵送いたします。

2021年 1月

NPO法人民間稲作研究所 理事会